

2-PB-52

パスの質向上を目指す

- パス管理と患者用パスを見直して -

中谷 潤(なかたに じゅん)¹、下谷 栄司¹、新谷 ひとみ²、永澤 昌³

¹市立三次(みよし)中央病院 医事課

²市立三次中央病院 看護部

³市立三次中央病院 診療部

市立^{みよし}三次中央病院の概要 2015.10 現在

- * 広島県北の中核急性期病院として、地域住民に質の高い医療を提供する
- * 指定等 地域医療支援病院、二次救急医療機関、小児救急医療拠点病院
DPC 対象病院(2009 年度)、7:1 看護配置 等
- * 病床数 一般 350 床(うち地域包括ケア病棟 53 床)
- * 医師数 70 人
- * 看護師数 約 316 人 (常勤換算)
- * 外来数 14,747 延人/月
- * 入院数 9,258 延人/月
- * 救急数 1,023 延人/月



当院は広島県北の山間部に位置する

当院のクリニカルパス整備状況

- * 電子カルテシステム ・ HOPE/EGMAIN-GX (富士通) 2008.12 より運用
- * 運用パス ・ 127 種類 (すべて電子パス) 2015.10 現在
- * アウトカム ・ BOM ver2.0 マスタ導入済 (ベンダ提供版)
- * パス適用割合 ・ 約 50% 2014 年度実績

◆ 2014 年度 診療科別パスの適用割合 (割合 = パス件数 / 入院件数)

	割合	入院件数	パス件数
総計	49.9%	6,825	3,404
内科	32.0%	2,227	712
小児科	3.2%	346	11
外科	61.2%	645	395
整形外	0.4%	488	2
脳外科	0.7%	299	2
皮膚科	0.0%	85	0

	割合	入院件数	パス件数
泌尿科	58.6%	331	194
産婦人	90.1%	1,307	1,177
眼科	100.0%	716	716
耳鼻科	56.6%	343	194
歯科	0.0%	32	0
放射線	0.0%	6	0
麻酔科	-	0	1

本報告の概要

電子カルテ導入時から、パスはすべて電子パスに移行

▶ 7年以上の運用によって、発生した問題と改善方法について報告

◆ パス運営に診療情報管理士(事務職)が積極的に関わっていくこと、
また当院での事例を参考に、他院の改善に資することを目的とする

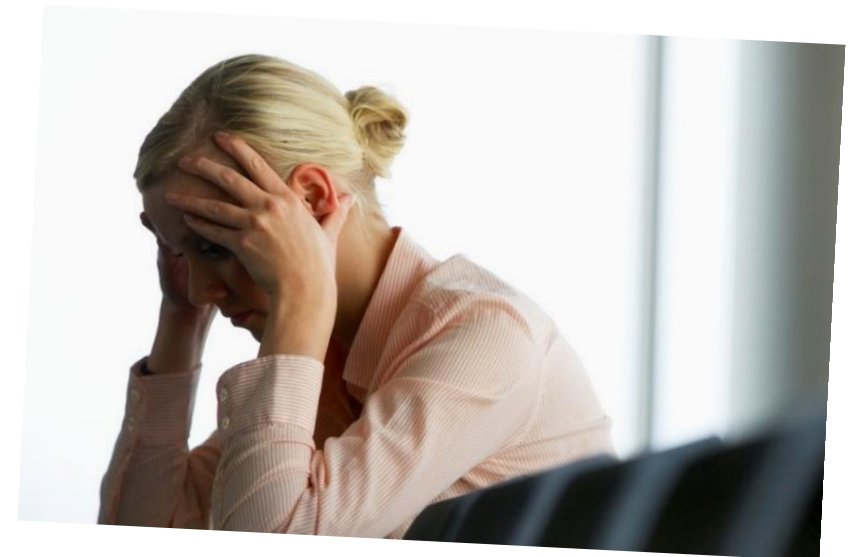
当院で発生していたパスに関する2つの問題

*①パス管理方法の問題

◆ 新旧パスの管理ができていない

*②患者用パスの問題

◆ 患者用パスに不備があった



①パス管理方法の問題

- * 電子カルテに機能はあるが「パスコード」を設定せずに運用
- * 新旧パスの管理は、パス名称だけで行われていた
- * パス名は改訂時に変更されるため、世代管理が困難…

◆パス改訂に伴う名称変更の例

改訂前名称	改訂後名称
〇〇パス	新)〇〇パス
××パス	××パスver.2
〇×パス	〇×パス改訂版

版数の表現方法について規定はなく、名称はバラバラ…

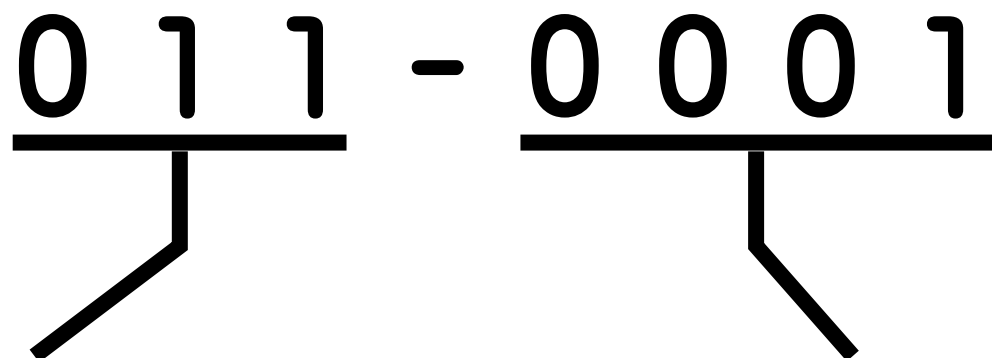
効率化できないか？

そのため世代間での分析を行う場合、世代関係を定義するテーブルを別に作成する必要があった

パス管理体制の改善策

* 名称変更があっても管理しやすいよう、個々にパスコードや版数を設定

* パスコード(7桁)



診療科コード

承認順に連番で採番

◆ 廃止パスのパスコードは欠番

パスコードの診療科コード定義テーブル

診療科名	コード	診療科名	コード
内科	010	脳神経外科	090
内科(消化器)	011	皮膚科	100
内科(循環器)	012	泌尿器科	110
内科(呼吸器)	013	産婦人科	120
内科(内分泌)	014	眼科	130
内科(腎臓)	015	耳鼻咽喉科	140
内科(緩和ケア)	016	歯科口腔外科	150
精神科	020	リハビリ科	160
小児科	050	放射線科	170
外科	060	麻酔科	180
整形外科	080	透析科	190

* 版数

連番3桁で採番(初版の例:001)

パス詳細情報

パス詳細情報登録

パスコード	バージョン	治療開始日までの日数	標準適用日数
012-0004	001	0日	2日

名称 ※全角25文字(半角50文字)まで入力可能

(1泊2日)心臓カテーテル検査

パスコード設定で得られた成果

* パス統計もパスコードで並び替えるだけで、分野ごとに提示可

パスコード	版	パス名称	標準日数	評価日数差		日数分布	標準終了率	適用件数	終了評価済			中止等			
				AVG	SD				小計	終了	短縮	延長	中止	逸脱	適用
140-0001	002	ラリngoマイクロサージェリー	3	0.7	2.1		81%	27	26	21		5			1
140-0002	001	両側慢性副鼻腔炎手術	8	0.2	0.4		83%	12	12	10		2			
140-0002	002	両側慢性副鼻腔炎手術	8	-0.1	0.3		92%	13	12	11	1		1		
140-0003	001	小児)口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	5	0.0	0.0		100%	3	3	3					
140-0003	002	小児)口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	5	0.0	0.0		100%	14	14	14					
140-0004	001	成人)口蓋扁桃摘出術	8	-0.6	1.3		63%	19	19	12	6	1			
140-0005	001	片側慢性副鼻腔炎手術	8	0.1	1.1		83%	30	30	25	2	3			
140-0006	001	甲状腺腫瘍	11	-2.5	1.2		13%	32	32	4	28				
140-0007	001	頸部腫瘍(耳下腺・頸部リンパ郭清・その他)	9	-0.6	2.5		0%	10	9		6	3	1		
140-0007	002	頸部腫瘍(耳下腺・頸部リンパ郭清・その他)	9	0.8	2.9		62%	13	13	8	3	2			
140-0008	002	鼓膜形成術	3	5.3	5.4		25%	4	4	1		3			
140-0009	001	小児)鼓膜換気チューブ留置術	3	0.0	0.0		100%	1	1	1					

効率化!!

* 他にも類似名称パスが判断しやすくなった

130-0005: 右白内障(短)

130-0006: 左白内障(短)

130-0007: 右白内障(腎機能低下)(短)

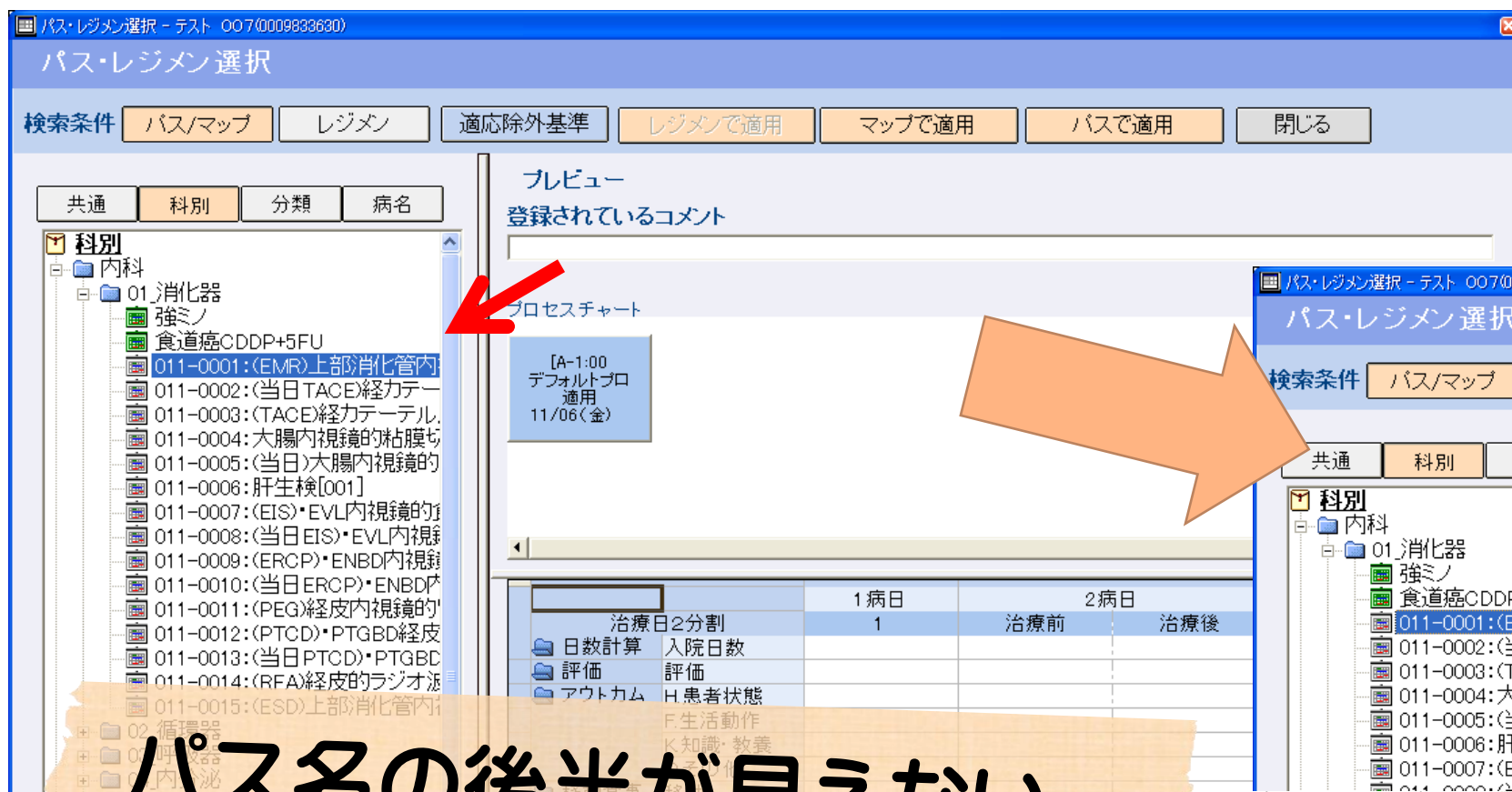
130-0008: 左白内障(腎機能低下)(短)

類似名称パスも...

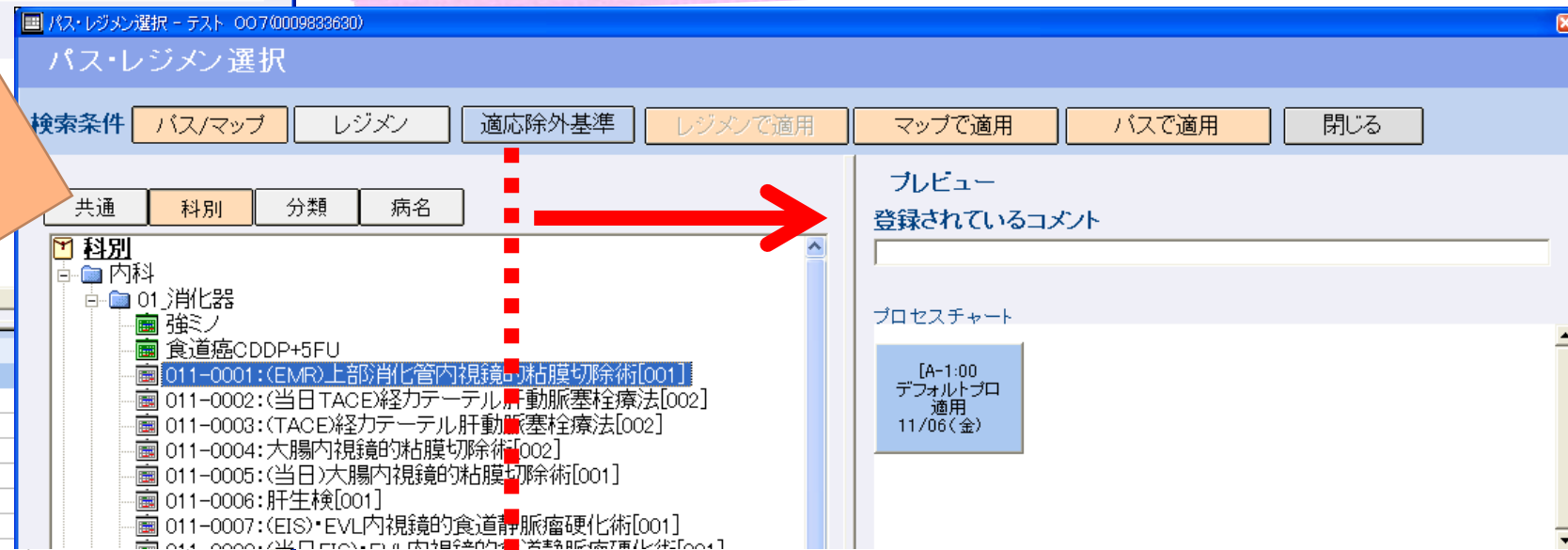
コードで見分けやすい

パスコード導入後の問題点

* パス選択画面に表示されるパス名が、途切れて表示される



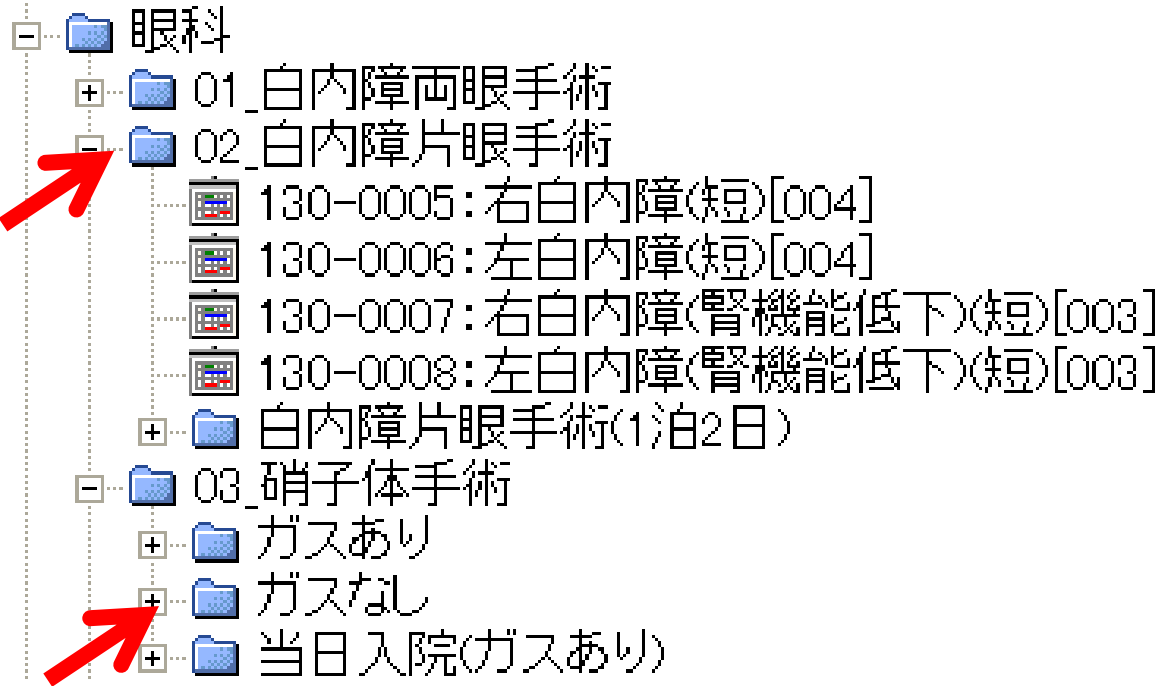
ベンダ対応で表示範囲拡大!!



パス名の後半が見えない...

* パス一覧に類似パスごとに並ばない

◆ パスコードで昇順に並んでしまう



フォルダを活用して対応!!

②患者用パスの問題

* 患者に提供している患者用パスに以下の問題があった

i. 内容の一部がセルからはみ出して 文末がわからない

ii. イラストが文字列と重なって、読めない

iii. パスごとに様式が異なり、同一医療機関のパスとは 思えない

▶ 他院の公開中の患者用パスでも、同様の問題を見かけることも!!

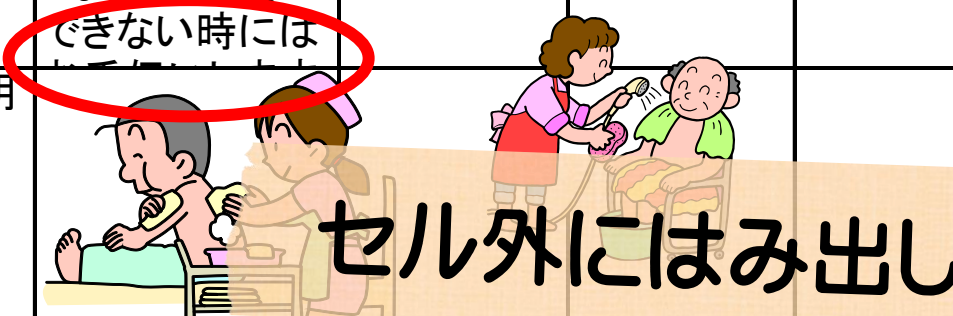
◆問題の一例(下肢静脈瘤手術パス)◆

貴院のパスもぜひ確認を!

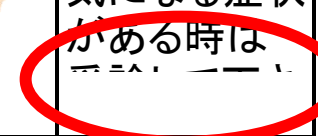
清潔		ムダ毛のカットの処置後 入浴ができます			湯を配りますので体を拭きましょう。ご自分でできない時には	シャワーができます	シャワーができます		
説明指導他	主治医から手術の説明があります 入院に必要な物品、手術前の注意点を	主治医の説明があります 入院までの経過や病状をお伺いします 手術室看護師が訪問し	手術室に行く前に義歯・コンタクト・指輪・時計などをはずしておいてください	手術後医師からの説明があります	湯を配りますので体を拭きましょう。ご自分でできない時には	シャワーができます	シャワーができます		退院です 退院後の注意点について説明します 気になる症状がある時は



イラストの重なり



セル外にはみ出し



* 病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら担当看護師におたずねください。

市立三次中央病院

患者用パスの質を向上する

* i ii … Microsoft® Excel®での作成が原因のため、同社 **Word®**で作成

* iii …… **院内共通**の様式を新たに作成

▶ パス承認前に **診療情報管理士**が最後に校正して体裁を整える運用へ

変更前

心臓カテーテル検査を受けられる方へ

日付	検査前	検査中	検査後	退院
注射	検査前に点滴を行います。点滴をしながら検査にいきます。		*点滴を1本追加して、点滴は終わりです。 *検査直後と点滴終了時に抗生剤の注射をします。	
内服	内服中の薬を確認します。			新しい薬が出たとき説明を行います。
検査	身長・体重を測定します。	心臓カテーテル検査があります。		
処置	点滴時に穿刺部位へ麻酔のテープをはります。	検査に降りると台の上に横になり胸に心電図の電極をはります。検査中は、撮影のために部屋が暗くなったり、台が動いたり、顔の方まで大きな機械が近づくことがあります。	検査直後・検査後30分・検査後3時間に血圧・脈拍の測定と出血などの確認を行います。 *手首からの場合* 検査後30分に固定をはずします。検査後3時間に圧迫をはずし、出血がみられなければ絆創膏をはります。 *肘からの場合* 主治医の指示により、圧迫の圧を少しずつ減らしていきます。圧が0mmHgになって1時間後に出血がみられなければ圧迫をはずし、絆創膏をはります。	
活動	病院内は自由です。	検査へは車椅子でおります。	病棟内は自由です。	病院内は自由です。
栄養	朝食後より絶食です。水・お茶はしっかり飲んでください。		検査後すぐに食事ができ	
排泄			トイレまで歩行できます。	
清潔	検査前までは入浴できます。		入浴・シャワーは禁止です。	入浴できます。
説明	主治医より検査について説明があります。看護師より入院と検査のオリエンテーションを行います。		主治医より検査結果について説明があります。看護師より検査後の安静度について説明します。	次回受診日等退院時のご案内をします。
その他	連絡先や既往歴等をお聞きします。点滴前にシャツは脱ぎ、貴金属や義歯等は外しておいて下さい	検査中に造影剤を使用します。気分不良等ありましたら、医師・看護師にお伝えください。	出血や強い手のしびれ痛み・気分不良等がありましたら、医師・看護師にお伝えください。	会計後、病棟で診察券等をお渡します。

変更後

市立三次中央病院 Miyoshi Central Hospital

012-0004 [20081128]



心臓カテーテル検査(1泊2日)を受けられる方へ

氏名: @PATIENTNAME 様

日付	1日目(検査当日)			2日目 退院日
	検査前	検査中	検査後	
注射	検査前に点滴を行います。点滴をしながら検査にいきます。		<ul style="list-style-type: none"> 点滴を1本追加して、点滴は終わりです。 点滴終了時に抗生剤の点滴又は内服をします。 	
内服	内服中の薬を確認します。			新しい薬が出たとき説明を行います。
検査	外来で心電図・血液検査を行い病棟へ上がります。	心臓カテーテル検査があります。		
処置	手首又は肘に麻酔のテープをはります。	<ul style="list-style-type: none"> 検査におりると台の上に横になり、胸に心電図のシールをはります。 検査中は、撮影のために、部屋が暗くなったり、台が動いたり、顔の方まで大きな機械が近づくことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査直後・検査後30分・検査後3時間に、血圧・脈拍の測定と出血などの確認を行います。 手首からの場合 検査後30分に固定をはずします。検査後3時間に、圧迫をはずし、出血がみられなければ絆創膏をはります。 肘からの場合 主治医の指示により、圧迫の圧を少しずつ減らしていきます。出血がみられなければ、圧迫をはずし、絆創膏をはります。 	
活動	病院内は自由です。検査へは車椅子で降ります。		病棟内は自由です。	病院内は自由です。
食事	朝食後より絶食です。水・お茶はしっかり飲んでください。		検査後より食事ができます。	
排泄			トイレまで歩行できます。	
清潔	検査前までは入浴できます。		入浴・シャワーはできません。	入浴できます。
説明	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より検査について説明があります。 看護師より入院と検査のオリエンテーションを行います。 連絡先や既往歴等をお聞きします。 点滴前にシャツは脱ぎ、貴金属や義歯等は外しておいてください。 	検査中に造影剤を使用します。気分不良等ありましたら、医師・看護師にお伝えください。	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より検査結果について説明があります。 看護師より検査後の安静度について説明します。 出血や、強い手のしびれ、痛み、気分不良等ありましたら、すぐに医師・看護師にお伝えください。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で気をつけていただきたいこと、次回受診日等、退院後のご案内をします。 会計後、病棟で診察券等をお渡します。

※状態に応じて予定は変更になる場合があります。ご質問、ご不明な点などありましたら、担当看護師におたずねください。

平成 27 年 10 月 27 日

今回の事例でわかったこと

* 診療情報管理士 (事務職) がパス管理・患者用パスの見直しに参加

◆ パス分析の効率化が図られた

▶ パス改訂の提案が迅速化

◆ 患者用パスを改善・統一した

事務職の役割は分析だけにあらず!!

パス管理や様式見直しで
パスの質向上に成功した

今後の課題

* 現在の患者用パスには、アウトカムが記載されていない

◆ アウトカムを患者と共有することがパス導入目的のひとつ

* 当院ではアウトカムの表現は BOM で標準化済み

◆ 患者用パスに記載するアウトカムも標準化した

記載にするため、「患者用 BOM(仮)」の作成が必要か？

